

IPPINは、おらが町の「一品」は「逸品だ」という誇りを持って紹介するコーナーです。

厚田の鰯バツテラ

@石狩市



石狩の厚田では、江戸時代の松前藩の頃からニシン漁が行われてきました。明治から大正にかけて北海道のニシン漁は全盛を迎え、厚田の港も賑わっていたそうです。漁獲量は減ったものの現在も厚田ではニシンが水揚げされています。「道の駅」で販売している「ニシンバツテラ」は、酢でべた脂のつた石狩湾沖のニシンと数の子を組み合わせた「親子押し」です。道産米をブレンドしたシャリには、ゴマと刻んだガリを混ぜ合わせ、独自の味付けを施した上質な数の子を間に挟んでいます。ニシンの旨み、数の子の歯ごたえを楽しめる、厚田の新名物です。味わえるのは春から秋の終わりまでなのでご注意ください。

序 文

introduction

この秋、ちよつと真面目に
再生可能エネルギーについて考えてみる

「〇〇の秋」とよく言われますが、

この秋は何について「深めたい」と考えますか。

私たちは、最近話題にのぼることが多い

「再生可能エネルギー」について考えてみたいと思います。

国では2050年度までに二酸化炭素排出量実質ゼロ、

カーボンニュートラルの社会になることを目指しており、

北海道も2020年3月に「ゼロカーボン北海道」を

目指すことを宣言しています。

今年4月には脱炭素先行地域の第1回選定結果が公表され、
北海道では石狩市、上士幌町、鹿追町の3市町が選定されました。

広大な土地を利用した太陽光発電の潜在能力、

風力・水力・バイオマス発電のポテンシャルも全国1位と、

北海道は再生可能エネルギーの宝庫とも言われています。

今号を通して、道の駅やその町で行われている

再生可能エネルギーの取り組みについて

一緒に理解を深めてもらえたら幸いです。

Contents

- | | |
|-------------------------------|---------------------------------------|
| P02 IPPIN-厚田の鰯バツテラ | P11 逸品と輝きを生み出す人たち
(石狩二三一 田谷 慎一朗さん) |
| P03 再生可能エネルギーへの
取り組み | P13 鹿追町
しかおい水素ファーム |
| P05 あんしん厚田
再エネマイクログリッドシステム | P15 鹿追町 |
| P07 石狩市 | P23 北海道の道路史 |
| P09/P17
「道の駅」紹介 | P25 逸品と輝きを生み出す人たち
(鹿追焼 三上 一正さん) |

本情報誌「@北の道の駅から」は、よりよい誌面づくりのための準備期間として、今号をもって発行を休止させていただきます。